

函館市交通事業經營計劃(第2次)
關係資料

平成25年7月
函館市企業局

函館市交通事業経営計画（第2次）

進行管理

- 1 進行管理の説明（平成25年4月改定）
- 2 平成24年度計画における局内評価結果一覧
- 3 進行管理シート
- 4 進行管理作業スケジュールについて（平成25年度）
- 5 各対策の担当課
- 6 参考資料（平成25年7月追加分）

函館市企業局

1. 進行管理の目的

本進行管理は、「函館市交通事業経営計画（第2次）」（平成22年3月策定。以下「経営計画」という。）に掲げた、

- ・ 現行の営業路線を維持することを基本とする効率的な運行および経営の実施
- ・ 高齢社会やバリアフリー対策など利用者の観点からの魅力あるサービスの提供
- ・ 単年度収支の黒字化を基本とする経営の維持
- ・ 年次計画に基づく累積資金不足額の解消

これらを基本として実施する各対策の実績および成果を評価・検証することにより、経営計画の適切な進行管理を行おうとするものである。

2. 進行管理の評価体制

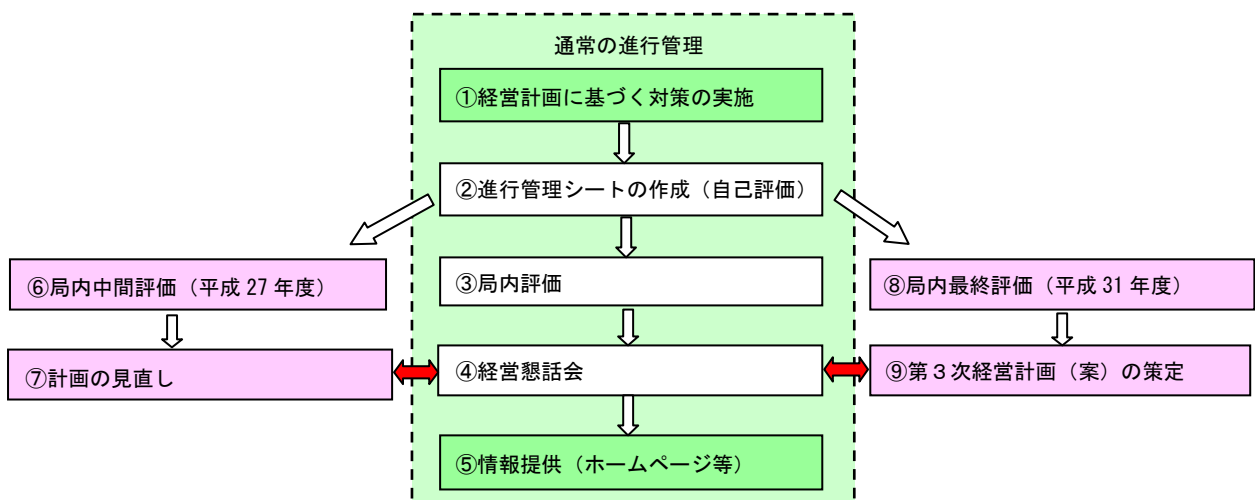
- ①各対策を担当する主管課が自己評価を実施する。
- ②自己評価結果を踏まえ、企業局内で再評価（以下「局内評価」という。）を実施する。
- ③局内評価結果に対する、函館市企業局経営懇話会（以下「懇話会」という。）の意見等を聴き、次年度からの実施計画等へ反映させる。

3. 進行管理の流れ

経営計画に定められた各対策の実績および成果を毎年度、評価・検証し、実施計画と実績に乖離が生じた場合には、その原因を分析するとともに、その結果に基づき実施計画の見直し（原則として平成27年度とする）や次期経営計画に反映させることとする。

なお、実施計画・対策目標の評価結果については、ホームページ等により公表するものとする。

函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理フロー



○通常の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→③局内評価→④経営懇話会→⑤情報提供→①

○平成27年度の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→⑥局内中間評価→⑦計画の見直し→④経営懇話会→⑤情報提供→①

○平成31年度の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→⑧局内評価最終評価→⑨第3次経営計画(案)の策定→④経営懇話会→⑤情報提供

4. 各対策の評価方法

評価に当たっては、各対策の実施計画・対策目標に対しての実績・成果について「函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理シート」（別添様式）により評価・検証するものとする。

5. 各対策の評価

自己評価および局内評価は、下記により実施するものとし、評価理由および今後の方向性についても整理することとする。

なお、公表する評価は、局内評価時点のものとする。

A：「完了した」

B：「計画どおり進んでいる」または「成果が上がっている」

C：「計画に遅れが生じている」または「あまり成果が上がっていない」

D：「計画が滞っている」または「全く成果が上がっていない」

E：「外的要因等により休止・中止する」

6. 懇話会意見等

局内評価の結果に対しては、懇話会からの意見等を聴くものとし、個別に出された委員からの意見等（下記【意見等例】参考）をもとに懇話会で集約するものとする。

なお、集約された懇話会の意見等は、進行管理シートの「経営懇話会意見等」の欄に記載し、公表するものとする。

【意見等例】

○ 局内評価「A」の場合

ア：完了したことから特に意見等はない。

○ 局内評価「B」の場合

イ：計画どおり進んでいる（成果が上がっている）ことから、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。

○ 局内評価「C」の場合

ウ：計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）が、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。

エ：計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。

○ 局内評価「D」の場合

オ：計画が滞っている（全く成果が上がっていない）が、〇〇であることから、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。

カ：計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。

キ：計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を中止（休止）してはどうか。

○ 局内評価「E」の場合

ク：状況から休止（中止）は妥当と考える。

○ 前記によらない場合

ケ：その他（対策に対する具体的な意見等）

なお、意見等が次年度の実施計画・対策目標に反映できると判断したものについては、実施計画等に盛り込むこととする。

7. 進行管理のスケジュール

進行管理のスケジュールは、原則として次のとおりとする。

作業内容	平成 24～31 年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
①経営計画に基づく対策の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
②進行管理シートの作成（自己評価）	●	●										
③進行管理シートの取りまとめ			●									
④担当各課ヒアリング			●									
⑤局内評価			●									
⑥経営懇話会資料作成			●									
⑦経営懇話会				●			●				●	
⑧情報公開					●							

函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理スケジュール

8. 各対策の担当課

別紙「函館市交通事業経営計画（第2次）における各対策の担当課」のとおりとする。

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理

【平成24年度計画における局内評価結果一覧】

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成24年度)

対策項目・対策内容		主管課(担当)	前回評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
1 財政収支試算等の計画・実績		P.1 P.2 経理課(経理) 施設課	B	B	計画どおりの実績となった。	今後も引き続き計画に基づく事業運営を進める。	
2 収入に係る対策							
(1) 料金制度について							
(ア) 均一料金制度についての検討の継続 ● 利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。	P.3	経理課(経理)	C	B	均一料金制度について関係課で協議を行い、制度導入による効果の検証のためには、平成24年度から導入された市の新たな交通料金助成制度による料金収入への影響や、今後の消費税率改定による影響度の把握が必要となるため、当面はこれらの動向・状況把握を行っていくこととした。	交通料金助成制度や消費税率改定などが落ち着く平成28年度以降を目途に、ICカードシステムの導入検討状況や新幹線開業効果などの新たな外的要因等も踏まえて検討を続けていく。	
(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し ● 「エコロジー・バス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。	P.4	経理課(経理)	C	E	格安で電車・バスへ乗ることができるエコロジー・バスについては、交通事業者だけでなく市の支援も必要であるが、市の財政状況が非常に厳しい状況であることや、現在市において総合交通施策の調査を行っていることもあり、当面検討を休止する。 また、定期券等割引率の見直しについても、消費税率改定等により今後の料金収入の動向が把握しづらいことなどから、当面検討を休止する。	新たな割引体系検討の一環として、ICカードシステムの導入検討状況と合わせて料金優遇措置などの検討を行うこととする。	
(ウ) ICカード等新媒体の調査研究 ● ICカード、モバイル等新媒体の調査・研究を行う。	P.5	事業課(営業)	C	B	函館バスとの共同使用や商店街とのタイアップなど、ICカード等の導入効果や問題点などの調査を行った。	導入費用が非常に高額であるため、市や他の公共交通機関と協議しながら導入可否を検討する。	
(2) 乗客サービスについて							
(ア) 職員の接遇マナーと企業意識向上の徹底 ● 職員全員に対し、乗客接遇マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。	P.6	総務課(行革)	B	B	職員の接遇マナーの向上について、新たな試みの研修を行った。	平成24年度に実施した研修では、リーダーとなった職員が他の職員に研修内容を伝達することで本人の理解がより深まるとともに、グループワーク等により接遇向上への継続的な取り組みが期待できる。引き続き、このように効果的な接遇向上のための研修を実施していく。 また、ホームページについては、平成26年度の市ホームページのリニューアルに合わせて具体的な内容を検討していく。	
(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築 ● 乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。	P.7	事業課(電車)	B	B	利用者のニーズに合わせた増車運転を行い好評を得た。	効率的・効果的な運行ダイヤの構築を図る上で、今後も利用者ニーズの把握に努めるほか、平成24年度に実施した節電ダイヤによる運行では、問題が発生しなかったことなども考慮する。	
(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策 ● 電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。	P.8	事業課(営業)	B	B	車内無線LANへのアクセス件数を調査した結果、毎日、継続的に利用されていることを確認するとともに、観光情報に関する新たなホームページ作成など、無線LAN設置業者と協議を進めている。	スマートフォンの普及に伴い、アクセス数の増加が見込まれることから、他の媒体による情報発信を含め、利用しやすい情報発信に努めていく。	
(エ) 他の交通機関との連携強化 ● 乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。	P.9	事業課(営業)	B	B	平成24年度は、従前から実施している函館バスとの連携による運行のほか、北海道新幹線開業に向け、JR北海道・函館バス・企業局が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。	今後も函館バスとの連携による運行を行っていくほか、北海道新幹線開業に向け関係交通機関との連携を強化していく。	
(3) 広告料収入について							
(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進 ● 電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。	P.10	事業課(営業)	B	B	五稜郭公園前電停(野村證券)と魚市場通電停(函館信用金庫)の2箇所について更新した。	広告効果を高めるため、さらに積極的なPR活動や利用勧誘に努め、利用の促進に繋げる。	
(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売 ● 車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。	P.11	事業課(営業)	B	B	著名人の吹き替えによる電停案内を実施し、音声広告媒体としての効果を確認した。また、部分ラッピング広告の試行により、新たな広告媒体としての可能性を確認した。	広告代理店等への音声広告媒体の提案や部分ラッピングの本格実施に向けた検討を進める。	
(ウ) 広告料金の改定について検討 ● 広告料金の単価等の改定について検討する。	P.12	経理課(経理)	C	E	計画策定当初はカラー電車などが人気であり、広告料金の値上げをイメージし対策項目としたが、昨今の経済状況から広告料金の値上げについては非常に厳しい状況であるため、広告料金の改定については当面休止する。	今後、新幹線の開業などにより、観光客の入り込みや市内経済状況の好転が予想されるため、時期をみて再開する。	
(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売 ● 電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。	P.13	事業課(営業)	B	B	キャラクター商品など、新商品の開発促進を行った。	新規商品の開発・販売は、これまでの実績を検証するとともに、その結果を踏まえ、今後の取り組み方針を決定する。	

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成24年度)

対策項目・対策内容		主管課(担当)	前回評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
2 収入に係る対策							
(4) 利用促進について							
(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進 ●環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。	P.14	事業課(営業)	B	B	北海道運輸局や市・環境部と協力し、市内事業所などを個別訪問して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。	今後も引き続き、関係機関等と連携し、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかけることとしたい。	
(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施 ●路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。	P.15	事業課(営業)	B	B	路面電車感謝祭をはじめとする記念事業の継続実施に努めたほか、函館キッズタウンへの参加により、子供を含めた市民への広報活動を実施した。	今後も引き続きイベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。	
(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充 ●定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。	P.16	事業課(営業)	B	B	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行い、利用促進を図った。	今後も引き続き、各種宣伝活動を実施する。	
(エ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大 ●沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。	P.17	事業課(営業)	B	B	電車沿線で開催される各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、自由市場で買い物をした乗客が市電専用一日乗車券を提示することで100円のキャッシュバックを受けられるサービスを平成25年度から実施することとした。	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。	
(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 ●旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。	P.18	事業課(営業)	B	B	市電の乗車や車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案し、観光客等の利用促進に努めた。(H24修学旅行 402件、H24ツアー28件)	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。	
(カ) 交通事業等についての情報発信の強化 ●市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。	P.19	事業課(営業)	B	B	電停広報装置を活用し、遅延や故障等の情報をリアルタイムで発信するとともに、ホームページやフェイスブックを活用し、事業の最新情報や100周年のイベント情報等を発信した。	今後も引き続き、インターネット等を活用した情報発信の強化について検討し、ホームページの内容充実に努める。	
3 支出に係る対策							
(1) 効率化の推進について							
(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立 ●毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。	P.20	総務課(行革)	B	B	水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。	
(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制 ●技術職員、事務職員等の担当業務について、アウトソーシング推進の見地からの評価を行い、外注化・嘱託化を推進し、人件費総額の抑制に努める。	P.21	総務課(行革)	C	E	外注化拡大を検討した結果、委託の拡大に当たっては受託者の環境が整備されている必要があり、将来に向けた技術継承をしていく必要もあるため、当面の間、外注を拡大することは難しい。	民間事業者への技術継承などを含めて課題解消に向けた働きかけを行っていく。	
(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト削減 ●事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。	P.22	総務課(行革)	B	B	消耗品や電力量の削減に地道に取り組んでいる。	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。	
(2) 建設改良について							
(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進 ●車両、線路、電路等施設について、日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保するため、改修・更新を進める。	P.23	施設課	B	B	平成24年度の建設改良工事は、計画していた車体改良、軌道改良を実施したほか、道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。なお、当初予定していた安全地帯改良工事は、函館市中心市街地トータルデザインとの整合性を図ることから、当年度の施工を中止している。	安全運転の確保と将来にわたる事業継続を担保するため、計画的な施設の改良・更新を進める。	

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成24年度)

対策項目・対策内容		主管課(担当)	前回 評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
3 支出に係る対策							
(2) 建設改良について							
(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続 ●LRTシステム整備費補助金制度について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。	P.24	施設課	B	B	全国路面軌道連絡協議会などを通じて、補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。	今後も引き続き、積極的な情報収集を行うとともに、各種団体と協力しながら、国に対して要望を継続する。	
4 一般会計からの補助							
(1) 施設改善関係に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.25	経理課(経理)	B	B	概ね計画どおりの補助金額となった。	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。	
(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.26	経理課(経理)	B	B	概ね計画どおりの補助金額となった。	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。	
5 累積資金不足額の処理							
(1) 計画期間を目標とする累積資金不足額の解消について							
(ア) 一般会計補助金による年次の処理 ●市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目標とする年次計画により解消を図る。	P.27	経理課(経理)	B	B	平成24年度においては計画を上回る不良債務の解消が図られている。	今後も一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。	
6 走行環境の改善							
(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について							
(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続 ●運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。	P.28	事業課(電車)	C	E	併用軌道であることから、法等によって乗入規制が強化されない限り、現状では実現困難と判断した。	今後は軌道敷内進入注意の啓発を強化し、走行環境の改善に努めたい。	
(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化 ●自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。	P.29	安全推進課	B	B	平成24年度は、リーフレットの制作・配布により軌道敷内の電車優先運行の啓発に努めたほか、路上駐車への対応を警察に依頼した。	引き続き軌道敷内の電車優先運行に関する啓発活動に努める。	

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	5	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	-825	15,853	15,743	15,651	15,574	15,510	15,461
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-	-0.80	-0.69	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	0	32	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	1	104	108	106	106	106	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	1	66	66	66	66	66	66
	嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	0	38	42	40	40	40	39
経常収支	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	18	977	968	963	954	948	943
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	17	917	907	901	892	886	880
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	7	300	321	314	313	302	316
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	11	209	230	223	222	212	226
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	24	1,277	1,289	1,276	1,266	1,250	1,259
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	-26	1,168	1,276	1,219	1,204	1,212	1,233
	人件費	611	592	626	610	558	538	-20	567	670	630	584	622	635
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	-32	481	489	487	493	505	511
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	0	87	52	0	26	36
	経費	453	433	448	449	449	435	-14	442	433	427	420	402	393
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	0	50	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	-19	251	246	244	240	225	220
	その他	151	150	148	162	144	149	5	140	137	133	130	127	124
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	7	160	173	163	200	188	204
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	-14	61	57	59	59	60	60
	うち支払利息	31	32	28	27	25	23	-2	23	21	26	28	28	28
	予備費													
経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	-41	1,229	1,333	1,278	1,263	1,271	1,292	
差引	1	40	-12	-4	45	111	66	48	-44	-2	3	-21	-33	
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	差引	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	
純損益	118	158	106	81	163	204	41	166	74	116	121	97	85	
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	34	344	414	291	188	209	
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	-10	136	350	218	149	95	
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	11	209	64	73	39	114	
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	41	424	480	367	306	335	
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	
	うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	0	159	130	114	122	111	
差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-7	-80	-66	-76	-117	-126		
補填財源	284	334	265	248	328	375	47	325	247	279	321	285		
単年度資金過不足額	149	190	148	125	246	285	39	246	181	203	204	159		
累積資金過不足額	-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	60	-383	-202	1	205	364		
軌道事業分	31	72	61	112	189	305	116	317	380	465	551	592		
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-56	-700	-582	-464	-346	-228		

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	+34.5m	100m		200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所												
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所			1か所		-1か所							
	駒場変電所改良								実施設計	機器製作	取付等				
	超低床電車購入								1両				1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両					1両			
	電車車体大規模改修										2両	1両		1両	1両
建設改良費 計	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	-10	136	350	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	11	65	0	18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	0	65	0	18	18	56	26	26
	工事負担金						33	33							
	自己資金		7		6		7	7							
	計	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	15	316	258	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	130	138	141	145	4	140	173	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	-2	102	85	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	0	65		18	18	56	26	26
基礎年金拠出金				3		13	13	9			9	9		
その他				5										
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	-1	34	34	34				
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	-1	34	34	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	-29	122	120	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	-4	4	2	1				
合計	381	376	414	378	445	430	-15	471	413	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	31	818	700	582	464	346	228	110
処理額	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
	支払利息	7	2	6	1	5	1	-4	4	2	1			
	計	125	120	124	86	123	94	-29	122	120	119	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	56	700	582	464	346	228	110	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ア) 均一料金制度についての検討の継続
対策内容	利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗客動向調査の実施 ○均一料金の試行等による基礎的なデータ収集		○収入への影響等の検討、庁内協議および方向付けの整理			○函館バスや一般会計との協議 ○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等
実績・成果	○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。			

平成 24 年度

評 価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
-----	---

評価理由	均一料金制度について関係課で協議を行い、制度導入による効果の検証のためには、平成24年度から導入された市の新たな交通料金助成制度による料金収入への影響や、今後の消費税率改定による影響度の把握が必要となるため、当面はこれらの動向・状況把握を行っていくこととした。
------	--

今後の方向性	交通料金助成制度や消費税率改定などが落ち着く平成28年度以降を目途に、ICカードシステムの導入検討状況や新幹線開業効果などの新たな外的要因等も踏まえて検討を続けていく。
--------	--

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し
対策内容	「エコロジー・パス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○増客につながる割引制度・定期券の調査・研究					
	○「エコロジー・パス」導入について、関係部局・函バスとの協議	○調査、研究、協議結果に基づく庁内協議および方向付けの整理			○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
実績・成果	○交通局(当時)と協議のうえ、企画部企画管理課においてこれまでの調査・研究結果をまとめた。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
----	---

評価理由	格安で電車・バスへ乗ることができるエコロジー・パスについては、交通事業者だけでなく市の支援も必要であるが、市の財政状況が非常に厳しい状況であることや、現在市において総合交通施策の調査を行っていることもあり、当面検討を休止する。 また、定期券等割引率の見直しについても、消費税率改定等により今後の料金収入の動向が把握しづらいことなどから、当面検討を休止する。
------	---

今後の方向性	新たな割引体系検討の一環として、ICカードシステムの導入検討状況と合わせて料金優遇措置などの検討を行うこととする。
--------	---

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○ICカード等の導入事例および実態についての調査・研究			○局内協議および導入可否の整理	《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	函館バスとの共同使用や商店街とのタイアップなど, ICカード等の導入効果や問題点などの調査を行った。
今後の方向性	導入費用が非常に高額であるため, 市や他の公共交通機関と協議しながら導入可否を検討する。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標				○検証結果や乗客動向から、ダイヤ改正について検討する。		
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時分延長により、乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い、所要時間等の乖離がないか調査をした。	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○今年度は、節電に合わせて間引き運転を行ったが、大きな混乱は無かった。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	利用者のニーズに合わせた増車運転を行い好評を得た。
今後の方向性	効率的・効果的な運行ダイヤの構築を図る上で、今後も利用者ニーズの把握に努めるほか、平成24年度に実施した節電ダイヤによる運行では、問題が発生しなかったことなども考慮する。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策
対策内容	電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○液晶ディスプレイ以外の機器設置の可能性を調査					
			○無料で閲覧出来る観光情報を発信するとともに、利用実績などを調査する。			
実績・成果	○液晶ディスプレイを15両の電車内に設置した。	○営業車両の全車両に対し、無線LANによるインターネットに接続出来る環境を整備し、通信サービスの向上を図った。	○利用実績等の調査を行った。 ○観光情報の発信を検討した。			

平成 24 年度

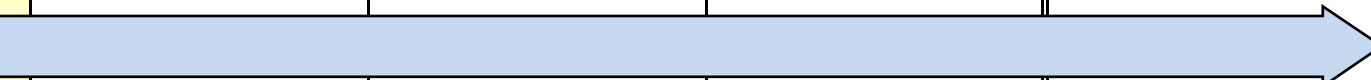
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	車内無線LANへのアクセス件数を調査した結果、毎日、継続的に利用されていることを確認するとともに、観光情報に関する新たなホームページ作成など、無線LAN設置業者と協議を進めている。
今後の方向性	スマートフォンの普及に伴い、アクセス数の増加が見込まれることから、他の媒体による情報発信を含め、利用しやすい情報発信に努めていく。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 他の交通機関との連携強化
対策内容	乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○関係機関との協議および連携強化 					
実績・成果	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るため、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。	○平成23年度と同様に、函館バスと連携した乗客輸送を行った。 ○初めて、JR北海道・函館バス・企業局の3事業者が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成24年度は、従前から実施している函館バスとの連携による運行のほか、北海道新幹線開業に向け、JR北海道・函館バス・企業局が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。
今後の方向性	今後も函館バスとの連携による運行を行っていくほか、北海道新幹線開業に向け関係交通機関との連携を強化していく。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券			
	【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫			

平成 24 年度

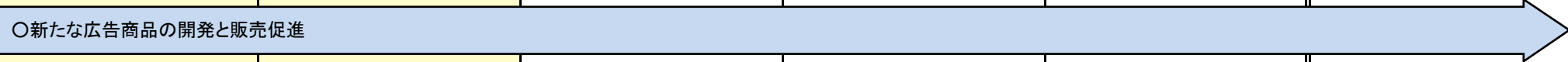
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	五稜郭公園前電停(野村證券)と魚市場通電停(函館信用金庫)の2箇所について更新した。
今後の方向性	広告効果を高めるため、さらに積極的なPR活動や利用勧誘に努め、利用の促進に繋げる。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売					
対策内容	車内および車外を利用した, 新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○新たな広告商品の開発と販売促進 					
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」	○芸能人の吹き替えによる電停案内を行った。 ○車体の部分ラッピング広告			

平成 24 年度

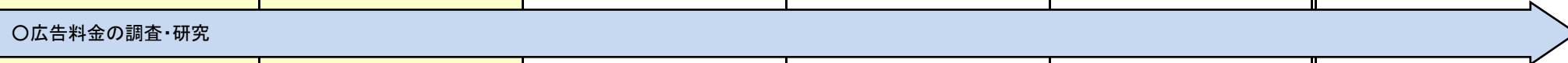
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	著名人の吹き替えによる電停案内を実施し, 音声広告媒体としての効果を確認した。また, 部分ラッピング広告の試行により, 新たな広告媒体としての可能性を確認した。
今後の方向性	広告代理店等への音声広告媒体の提案や部分ラッピングの本格実施に向けた検討を進める。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究 					
	○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者、4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。			

平成 24 年度

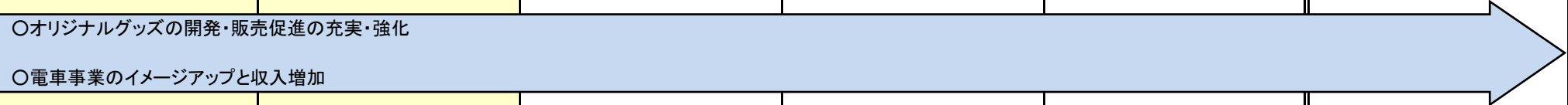
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	計画策定当初はカラー電車などが人気であり、広告料金の値上げをイメージし対策項目としたが、昨今の経済状況から広告料金の値上げについては非常に厳しい状況であるため、広告料金の改定については当面休止する。
今後の方向性	今後、新幹線の開業などにより、観光客の入り込みや市内経済状況の好転が予想されるため、時期をみて再開する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売					
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	【商品】 ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキーホルダー	【新規商品】 ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」	【新規商品】 ○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット ○函館市電8000形プラモデル ○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか			

平成 24 年度

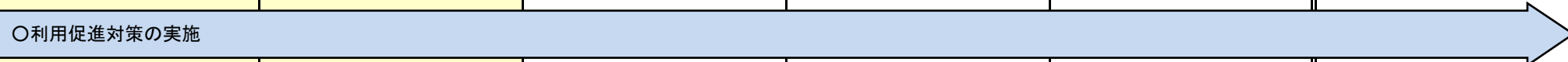
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	キャラクター商品など、新商品の開発促進を行った。
今後の方向性	新規商品の開発・販売は、これまでの実績を検証するとともに、その結果を踏まえ、今後の取り組み方針を決定する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○利用促進対策の実施 					
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	北海道運輸局や市・環境部と協力し、市内事業所などを個別訪問して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。
今後の方向性	今後も引き続き、関係機関等と連携し、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかけることとしたい。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 ○函館キッズタウンに参加			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	路面電車感謝祭をはじめとする記念事業の継続実施に努めたほか、函館キッズタウンへの参加により、子供を含めた市民への広報活動を実施した。
今後の方向性	今後も引き続きイベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標							
	<div style="text-align: center;"> </div>						
実績・成果		○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。			

平成24年度

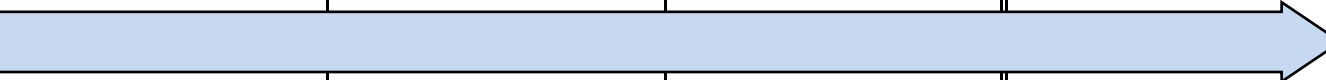
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行い、利用促進を図った。
今後の方向性	今後も引き続き、各種宣伝活動を実施する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大 					
実績・成果	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。			

平成 24 年度

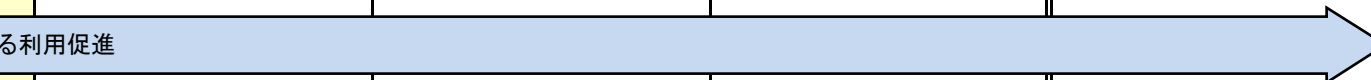
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	電車沿線で開催される各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、自由市場で買い物をした乗客が市電専用一日乗車券を提示することで100円のキャッシュバックを受けられるサービスを平成25年度から実施することとした。
今後の方向性	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 					
実績・成果	○市電乗車券をバックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をバックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。	○市電乗車券をバックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。 ○パック旅行に組みやすい商品として、旅行会社のオリジナル一日乗車券を発行した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	市電の乗車や車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案し、観光客等の利用促進に努めた。(H24修学旅行 402件, H24ツアー28件)
今後の方向性	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標		○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施				
			○広報活動およびインターネットを活用した情報発信の強化について検討する			
			○情報発信強化についての方法を検討・ホームページの内容の充実			
実績・成果	○乗り継ぎ制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベント等の情報をホームページやフェイスブックで発信した。			

平成24年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	電停広報装置を活用し、遅延や故障等の情報をリアルタイムで発信するとともに、ホームページやフェイスブックを活用し、事業の最新情報や100周年のイベント情報等を発信した。
今後の方向性	今後も引き続き、インターネット等を活用した情報発信の強化について検討し、ホームページの内容充実に努める。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。
今後の方向性	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化, 嘱託化推進による人件費の抑制
対策内容	技術職員, 事務職員等の担当業務について, アウトソーシング推進の見地からの評価を行い, 外注化・嘱託化を推進し, 人件費総額の抑制に努める。
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け, 各種課題の解決を図る。 ○管理業務の嘱託化に向けた課題を整理・実施する。	<p>・外注化および嘱託化の効果の検証</p> <p>○施設整備業務の外注化の拡大</p> <p>○外注化拡大の検討</p>			
実績・成果	○施設整備業務のうち, 電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し, 検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り, 管理業務の嘱託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。	○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	外注化拡大を検討した結果, 委託の拡大に当たっては受託者の環境が整備されている必要があり, 将来に向けた技術継承をしていく必要もあるため, 当面の間, 外注を拡大することは難しい。
今後の方向性	民間事業者への技術継承などを含めて課題解消に向けた働きかけを行っていく。
経営懇話会意見等	

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。			

#REF!

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	消耗品や電力量の削減に地道に取り組んでいる。
今後の方向性	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進
対策内容	車両, 線路, 電路等施設について, 日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため, 改修・更新を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 120 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 216 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 230 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 265 百万円	【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 350 百万円	【車両】車体改良 1両 【車両】車体修繕 5両 【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 900m 【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 945 百万円
実績・成果	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 114 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 205 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 434.5m 事業費 268 百万円			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成24年度の建設改良工事は, 計画していた車体改良, 軌道改良を実施したほか, 道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。なお, 当初予定していた安全地帯改良工事は, 函館市中心市街地トータルデザインとの整合性を図ることから, 当年度の施工を中止している。
今後の方向性	安全運転の確保と将来にわたる事業継続を担保するため, 計画的な施設の改良・更新を進める。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続
対策内容	LRTシステム整備費補助金制度(現:地域公共交通確保維持改善事業費補助制度)について, 国に対し, 補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。			

平成 24 年度	
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	全国路面軌道連絡協議会などを通じて, 補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。
今後の方向性	今後も引き続き, 積極的な情報収集を行うとともに, 各種団体と協力しながら, 国に対して要望を継続する。

経営懇話会意見等	
----------	--

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度						
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】						
	①	131 百万円	①	130 百万円	①	141 百万円	①	140 百万円	①	173 百万円	①	904 百万円
	②	81 百万円	②	97 百万円	②	117 百万円	②	106 百万円	②	87 百万円	②	186 百万円
	③	18 百万円	③	35 百万円	③	35 百万円	③	65 百万円	③	0 百万円	③	144 百万円
	④	百万円	④	百万円	④	百万円	④	9 百万円	④	百万円	④	18 百万円
	合計	230 百万円	合計	262 百万円	合計	293 百万円	合計	320 百万円	合計	260 百万円	合計	1,252 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】						
	①	140 百万円	①	138 百万円	①	145 百万円	①	— 百万円	①	— 百万円	①	— 百万円
	②	75 百万円	②	90 百万円	②	111 百万円	②	— 百万円	②	— 百万円	②	— 百万円
	③	17 百万円	③	30 百万円	③	35 百万円	③	— 百万円	③	— 百万円	③	— 百万円
	④	百万円	④	8 百万円	④	13 百万円	④	— 百万円	④	— 百万円	④	— 百万円
	合計	232 百万円	合計	266 百万円	合計	304 百万円	合計	— 百万円	合計	— 百万円	合計	— 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。
今後の方向性	経費節減に努めたいので、一般会計へ要求していきたい。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

4 一般会計からの補助

(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①車両および電路、変電所等施設の維持保守経費
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】 ① 25 百万円	【補助金】 ① 27 百万円	【補助金】 ① 33 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。
今後の方向性	経費節減に努めたくうえで、一般会計へ要求していきたい。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

5 累積資金不足額の処理

(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	前年累積額	-1,172 百万円	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	H27～H31の5か年合計
	解消額	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	解消額 582 百万円
	不足残額	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	-582 百万円	
	軌道事業補填	31 百万円	61 百万円	189 百万円	317 百万円	380 百万円	軌道事業補填 363 百万円
	不足額合計	-1,023 百万円	-875 百万円	-629 百万円	-383 百万円	-202 百万円	H31末不足額 743 百万円
実績・成果	前年累積額	-1,170 百万円	-1,052 百万円	-967 百万円	- 百万円	- 百万円	H27～H31の5か年合計
	解消額	118 百万円	85 百万円	93 百万円	- 百万円	- 百万円	解消額 - 百万円
	不足残額	-1,052 百万円	-967 百万円	-874 百万円	- 百万円	- 百万円	
	軌道事業補填	72 百万円	112 百万円	305 百万円	- 百万円	- 百万円	軌道事業補填 - 百万円
	不足額合計	-980 百万円	-855 百万円	-569 百万円	- 百万円	- 百万円	H31末不足額 - 百万円

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成24年度においては計画を上回る不良債務の解消が図られている。
今後の方向性	今後も一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。				
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。		○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討			
実績・成果	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	併用軌道であることから、法等によって乗入規制が強化されない限り、現状では実現困難と判断した。
今後の方向性	今後は軌道敷内進入注意の啓発を強化し、走行環境の改善に努めたい。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。					
				○新しい啓発リーフレットの制作		
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ●丸井今井駐車場にて来客者へ配付し周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ●自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○新しい啓発用リーフレットを作成した。 ○引き続き啓発リーフレットを配付し、周知に努めた。 ○路上駐車の影響により、軌道敷内に車両が進入する箇所について、警察に指導をお願いした。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成24年度は、リーフレットの制作・配布により軌道敷内の電車優先運行の啓発に努めたほか、路上駐車への対応を警察に依頼した。
今後の方向性	引き続き軌道敷内の電車優先運行に関する啓発活動に努める。
経営懇話会意見等	

函館市交通事業経営計画(第2次)の進行管理
作業スケジュールについて(平成25年度)

函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理作業スケジュールについて

H25. 7. 22(月)

日 程	事 務 局	各 委 員
7月22日(月) (本日)	○交通事業経営計画（第2次）進行管理における局内評価の説明	
7月23日(火) } 8月2日(金)	○各委員からの質問等受付（電話・FAX・Eメール） 《連絡先》 管理部経営企画課 浅原 宛 TEL:27-8766 FAX:23-7053 E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp	○進行管理シート毎に各委員 <u>個人の意見を作成</u> ○各シートを見て、 <u>意見作成にあたって疑問となる点や不明な点などがあれば質問事項として抽出</u> し、電話・FAXまたはEメールで事務局に提出
8月12日(月) } 8月23日(金)	○質問の書面による回答 → 類似質問などをとりまとめ、Q&Aとして作成し、各委員に配布	○事務局から届いた質問事項の回答を基に、 <u>疑問・不明のため未作成であったシートについて、意見を作成</u>
9月2日(月) } 9月13日(金)	○各委員からの意見等の受付	○事務局へ <u>意見を提出</u> （郵送またはEメール） 《送付先》 〒040-8541 函館市末広町5番14号 企業局管理部経営企画課 浅原 宛（返信用封筒にて） E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp
9月17日(火) } 9月27日(金)	○各委員から提出された意見の集約 → 会長と協議し、懇話会意見等（案）を作成	
10月	○ 第2回 経営懇話会の開催 → 「各委員意見」と「懇話会意見等（案）」を資料配布	○配布された資料を基に懇話会としての意見をまとめる
11月～12月中旬	○ホームページによる進行管理シートの公表	

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理

各 対 策 の 担 当 課

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の担当課

項目	担当課	
	主管課(担当)	関係課(担当)
● 計画の総合調整	経営企画課	—
1 財政収支試算等の計画・実績		
(1) 財政収支試算	経理課(経理)	—
(2) 建設改良計画	施設課	—
(3) 一般会計補助金総括表	経理課(経理)	—
(4) 累積資金不足額の処理計画	経理課(経理)	—
2 収入に係る対策		
(1) 料金制度について		
(ア) 均一料金制度についての検討の継続	経理課(経理)	経営企画課 事業課
(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し	経理課(経理)	経営企画課 事業課(営業)
(ウ) ICカード等新媒体の調査研究	事業課(営業)	経営企画課
(2) 乗客サービスについて		
(ア) 職員の接遇マナーと企業意識向上の徹底	総務課(行革)	事業課(電車)
(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築	事業課(電車)	事業課(営業)
(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策	事業課(営業)	—
(エ) 他の交通機関との連携強化	事業課(営業)	—
(3) 広告料収入について		
(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進	事業課(営業)	—
(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売	事業課(営業)	—
(ウ) 広告料金の改定について検討	経理課(経理)	経営企画課 事業課(営業)
(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売	事業課(営業)	—
(4) 利用促進について		
(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進	事業課(営業)	総務課 経営企画課
(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施	事業課(営業)	経営企画課
(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充	事業課(営業)	経営企画課
(エ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大	事業課(営業)	—
(オ) 旅行代理店や観光コンパニオン団体等との連携強化による利用促進	事業課(営業)	—
(カ) 交通事業等についての情報発信の強化	事業課(営業)	経営企画課
3 支出に係る対策		
(1) 効率化の推進について		
(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立	総務課(行革)	交通部各課
(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制	総務課(行革)	経理課(経・契) 施設課
(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減	総務課(行革)	経理課(経理) 交通部各課
(2) 建設改良について		
(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進	施設課	安全推進課
(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続	施設課	安全推進課
4 一般会計からの補助		
(1) 施設改善関係に対する補助について	経理課(経理)	施設課
(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について	経理課(経理)	施設課
5 累積資金不足額の処理		
(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について		
(ア) 一般会計補助金による年次的処理	経理課(経理)	—
6 走行環境の改善		
(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について		
(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続	事業課(電車)	施設課(電路) 安全推進課
(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化	安全推進課	—

函館市交通事業経営計画(第2次)

参考資料

(平成25年7月追加分)



【平成25年6月29日 復刻花電車出発式】

平成25年7月
函館市企業局

目 次

● 参考資料（追加分）

- | | | | |
|---|---------------------------|---|-----|
| 1 | 電車広告（直営広告） | 1 | ページ |
| | ～直営で行っている広告等一覧 | | |
| 2 | 函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ | 1 | ページ |
| | ～現在販売中および最近まで販売していたグッズ等一覧 | | |
| 3 | 関連イベント | 4 | ページ |
| | ～局実施イベントおよび市内各種イベント等への協力 | | |
| 4 | その他写真等資料 | 5 | ページ |

<電車広告（直営広告）>

部分ラッピング広告（検討中）



広告料金
 規格 —
 単位 —
 金額 —
 特徴 電車の外側に印刷したラッピングステッカーを貼り付けるタイプの広告。塗装とは違い、脱着可能なので、短期間でも容易に掲出することが可能。

<函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ>

『ミニスタンプ』+『IDカード風バッチ』セット



販売価格
 600 円
 説明 松風かれんは当部でしか手に入らない限定品です。バッチにはキャラプロフィールを記載したキャラクターが身に着けそうなバッチをイメージしたもの、ミニスタンプは実際に設置されているスタンプと同じデザインです。

函館市電8000形電車 1/150スケール(Nゲージサイズ)



販売価格
 2,200 円
 説明 お待たせしました！市電8000形のプラスチックモデルがいよいよ発売されます。細部のこだわりをぜひご堪能下さい。

路面電車開業100周年記念市電1日乗車券



販売価格
 600 円
 説明 路面電車開業100周年を記念し、大正時代の乗換券をイメージした市電専用1日乗車券を作成しました。こちらは1,000枚限定です。
 ※小児券はございません。

＜函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ＞


鉄道むすめトレインステッカー Vol.3
駒場販売分完売[一般販売継続中 企画・販売 (株)トミーテック]



販売価格
630 円

説 明
 鉄道の現場で活躍する制服のコレクションフィギュア「鉄道むすめ」。魅力的な鉄道むすめキャラの車内ステッカーが登場!! 実際に鉄道で使用されているステッカー(=広告、PRなど)の鉄道むすめver.ステッカーの第3弾です。
 過去のポスターシリーズでご好評だったコラボ企画も収録されます。
 ★実際の車内ステッカーと同じサイズ(200×165mm)です。


セルDVD「蘇る函館市電3系統」路面電車開業百年記念復刻版
完 売 → 数量限定追加販売



販売価格
2,940 円

説 明
 函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電3系統の貴重映像
 [PART1] 函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前 前走車両8004号から後方営業車両1007号を撮影
 [PART2] 駒場車庫前→ガス会社前→函館どつく前 8004号運転席より展望風景を撮影
 貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。


セルDVD「蘇る函館市電1系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格
2,940 円

説 明
 函館市電ファン必見!! 平成4年に廃止された市電東雲線の貴重映像
 [PART1] 松風町→宝来町→十字街→末広町 (運転席よりの展望風景と走行シーン)
 [PART2] 末広町→十字街→宝来町→松風町 (501号運転席より展望風景を撮影)
 [PART3] 最終日の市電東雲線(最終電車発車シーン等)
 [資料映像]よその街からきた電車たち(排雪2・6号車試運転・都電色復元等)
 貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

セルDVD「続」蘇る函館市電3系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格
2,940 円

説 明
 函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電ガス会社まわり線の貴重映像【続編】
 [PART3] 函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前 (運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影)
 [PART4] 五稜郭公園前→ガス会社前→函館駅前 (運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影)
 [PART5] 港まつり開催日の市電ガス会社まわり線(花電車、西武・テーオー前折返し)
 [PART6] 最終日の市電ガス会社まわり線(最終電車発車シーン等)
 [資料]写真で振り返る市電「五稜郭駅前線」(五稜郭駅前電停、特急列車との並走等)
 ※PART1・PART2は、セルDVD「蘇る函館市電3系統」(別売り)に収録されております。
 貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

<函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ>

鉄道むすめ ト레인マークキーチェーン



販売価格

660 円

説 明

鉄むすキャラの架空トレインマーク第2弾!!

くるくる廻せる、もしも?のキャラ幕!?

鉄道の現場で活躍する制服のコレクションフィギュア「鉄道むすめ」。魅力的な鉄道むすめキャラのオリジナルトレインマークが登場!!

当局の販売は、「柏木ゆの&松風かれん」です。

路面電車開業100周年記念「オリジナルUSBメモリ4GB」



販売価格

2,100 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、オリジナルUSBメモリを作成いたしました。

今回は、なんと!

「国境なきデザイン集団」製作の車両紹介絵本 その1 530 試作版のデータ入り

路面電車開業100周年記念「ポスター2枚セット」



販売価格

1,050 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、ポスターを作成いたしました!

ご好評につき、この度販売決定いたしました。

鉄道むすめ 松風かれんをあしらったバージョンと

300形や1000形など、かつて市内を走行していた車両の手描きイラストバージョンです。

こちらの商品は2枚セットでの販売です。

路面電車開業100周年記念「クリアファイル3枚セット」



販売価格

1,050 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、クリアファイルを作成いたしました!

・鉄むす 松風かれんと函館夜景

・鉄むす 柏木ゆのと箱館ハイカラ號

・500形のコントローラーと旧型車両

こちらの商品は3枚セットでの販売です。

<函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ>

函館 路面電車開業100周年記念出版 函館の路面電車100年



販売価格

1,785 円

説 明

街角の記憶がよみがえる懐かしい写真を多数収録した永久保存版！大正から平成まで、函館の街を走る路面電車の生誕から現在に至る100年の奇跡をたどります。100年の歴史、沿線風景の移り変わり、走行車両の解説、車両の変遷、沿線の名所、開業当日の新聞などで構成。

<関連イベント>

路面電車開業100周年記念イベント



実施時期

随時

説 明

- 6/10
 - ◎ 200円均一運行(路面電車の日記念関係)
- 6/29
 - ◎ 100円均一運行
 - ◎ 復刻”大正時代の花電車”出発式
開業100周年記念セレモニー(駒場車庫構内 8:15 ~)
 - ◎ 100年間の電車大行進
100年以上前のササラ電車から最新鋭のらっくる号までが連行
(湯の川発 9:06 湯の川~松風町間を運行)
 - ◎ 臨100系統の運行
昔なつかしい車掌が車内改札を行います。
 - ◎ トワイライト写真撮影会(16:00 ~ 19:30)
駒場車庫内で電車の撮影ができます。
- 6/30
 - ◎ モーニング電車大行進
明治大正の街並みの中で市電が綺麗に交差します。
 - ◎ 臨100系統の運行
昔なつかしい車掌が車内改札を行います。

<その他、実施済の主な内容>

- 箱館ハイカラ號の運行回数を当てようキャンペーン
- 100周年記念「小学校紹介と子ども電車絵画展」
- 函館市電 開業100周年CMの制作
- 路面電車開業100周年記念キャッチコピー「100年の歴史を乗せて夢・未来」を一般募集で決定
- 路面電車開業100周年記念車内放送チャイムを一般募集で決定
- 100周年記念の系統板による運行
- 100周年記念ロゴマークの決定



<関連イベント>

はこだてキッズタウン2012



実施時期

7月

説 明

市内の小学3～4年生を対象とし、仮想の街で「職業体験」や「消費体験」を通じて社会の仕組みを学ぶイベント。キッズタウンにはたくさんの会社やお店があり、ここでは「働く人」も「お客さん」もみんなみんな子どもたちです。好きな会社(お店)に就職して「イカール」という通貨でお給料をもらい、そのお金で遊んだり、買い物や食事をする事ができます。

※主催:函館市、函館市教育委員会など

～函館路面電車開業100周年～「100年の歴史を乗せて夢・未来」
(歴史展示)



実施時期・場所

・平成25年6月21日(金)～7月25日(木)

金森赤レンガ倉庫「BAYギャラリー」(BAYはこだて1号館)

・平成25年7月27日(土)～8月13日(火)

函館市中央図書館「展示コーナー」

説 明

当局や愛好家が所蔵する写真や廃部品・廃止路線映像などを展示。入場無料。

函館・東北チャリティープロモーション



実施時期

・平成25年6月22日(土)～23日(日)

説 明

東日本大震災の復興支援や、函館市が中心となり東北・北海道の観光をはじめとする交流を深めることを目的に、函館市と北海道新聞函館支社が連携して実施している事業。会場は札幌市(大通公園)で、2回目となる今年は、函館市の観光PRの一つとして路面電車開業100周年関連ブースを出展した。

<その他写真等資料>

100円キャッシュバックサービス(はこだて自由市場)



説 明

はこだて自由市場と協力し、平成25年度から新たに開始したサービス。市電専用一日乗車券を自由市場で買い物をする時に提示すると、購入金額にかかわらず100円のキャッシュバックが受けられるほか、自由市場の各店舗での個別サービスも受けられる。

電車優先運行啓発リーフレット



目指そう
市電と車の共存できる社会

ドライバーの皆さん
軌道敷内への直前進入は大変危険です

市電は、レール上を鉄車輪で走行するため、急ブレーキをかけてから止まるまでの距離が車に比べて長くなり、車などの障害物を避けて進むことが出来ません。

また、急ブレーキの使用は、市電のお客様に大きな衝撃を与えますし、接触した場合には双方に危険が生じます。

交差点や右折などで軌道敷内に入る場合には、バックミラーでの確認だけではなく、自らの『目で確認』していただき、軌道敷の『外』でお待ちいただくようお願いいたします。



市電が急ブレーキをかけてから止まるまでの距離 (メートル)

		ブレーキをかけようとした時のスピード						
時速 km/h		10	15	20	25	30	35	40
車内人数	0人	5.0	9.1	14.3	20.4	27.8	36.2	49.2
	50人	5.3	9.9	15.6	22.7	31.1	40.7	51.6
	100人	5.7	10.7	17.1	23.1	34.4	42.9	57.3

※天候や軌道の状況などにより、これより長くなる場合があります。

※参考ですが目安として、電柱間の距離がおおよそ30mです。



説明
電車と一般車両の接触事故の減少に向けて制作。

これまで、年4回実施される全国交通安全運動にあわせた街頭での一般ドライバーへの配布、運転免許試験場への掲示と配布、市内主要自動車学校への配布と講習での活用、市内主要レンタカー会社への据え置きなどを行ってきた。

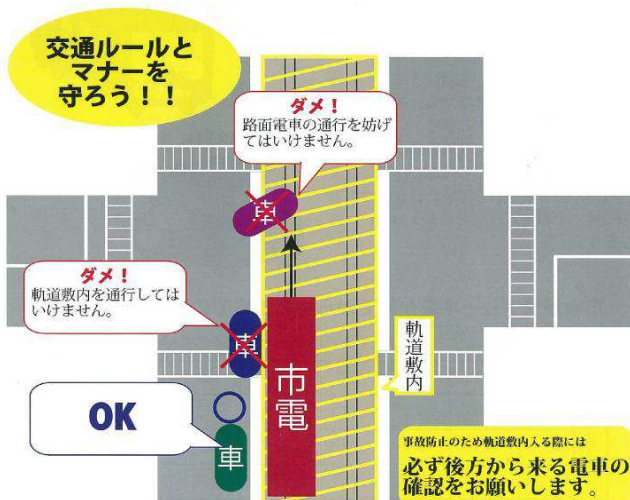
(平成24年度新リーフレットに更新)

譲って下さい市電の道を
定時運行の確保にご協力願います

市電は、一度に多くのお客様を運ぶことのできる定時性に優れた『人と環境にやさしいのりもの』として、見直されつつある公共交通機関です。

しかし、他の車両と平行して走行するため、特に交差点では青信号であっても、右折等の車両により軌道敷がふさがれ、市電の走行が妨げられる状況が数多く生じております。

市電の定時運行や接触事故防止のためにも、右折等の際に市電が近づいてきた時には軌道敷に入らず、その『外』で停車いただき、市電がスムーズに運行できるよう、ドライバーの皆様方のご協力をお願いいたします。



函館市企業局交通部安全推進課 TEL 32-1725